

# Japanese Red Cross Narita Hospital

## 新生児科



新生児科研修指導責任者  
**戸石 悟司**

新生児科部長 /  
日本周産期・新生児医学会認定新生児専門医研修指導医、  
日本小児科学会専門医・指導医

■研修指導医  
新生児科部長 / 川戸 仁

### 01 研修期間

小児科後期研修の場合最低6ヵ月必須 産婦人科後期研修の場合は適宜相談  
希望時1年間まで延長可能

### 02 目的

小児科専門医取得ならびに周産期専門医(新生児)取得  
ただし、周産期専門医は小児科専門医を取得の上さらに3年間の研修を経て取得可能

### 03 特徴

当院新生児センターはNICU(人工呼吸器等の集中治療を必要とする児の病棟)9床と、GCU(やや軽症な新生児の病棟)18床の合計27床で構成されています。北総(印旛・香取)・東総(匝瑳)地域の中核としてフル稼働しており、東千葉のほとんどのエリアならびに茨城東南部地域からの入院依頼があります。年間約300例の入院症例があり、その内訳は、超低出生体重児年間平均約10名、極低出生体重児年間平均約20名、新生児搬送(院外で出生した児の受け入れ)年間平均約80件です。

また、新生児科退院後の児の成長発達フォローアップ外来も行っており、3歳もしくは小学校就学前(6歳)までの退院後支援ならびに相談を新生児科医が行っています。

当科での研修は、小児科医としてスキルアップが行えるように目標設定しています。

- ①ICUでの研修として人工呼吸器管理などの呼吸・循環管理が行えるようになる
- ②点滴(カテーテル)、挿管、胸腔穿刺などの手技や新生児蘇生法(NCPR)の資格取得
- ③染色体異常や先天奇形を有する児や、早産児や医療的ケア児などの退院後のフォローアップを実際に経験することで地域や療育機関との連携の研修が可能

### 04 経験することが可能な特殊治療

脳低体温療法、新生児NO吸入療法、新生児動脈管結紮術(当院心臓血管外科医可能)

### 05 当研修プログラムの週間スケジュール

	月	火	水	木	金	土・日	
7:30-8:00	受け持ち患者の把握、小児科ともカンファレンス						研究会 学会
8:00-9:00	朝回診、カンファレンス 受け持ち患者につき上級医とのディスカッション						
9:00-11:00	病棟 月・木 帝王切開日(必要時立ち合い) 学生・初期研修医の指導						
11:00-11:30	病棟カンファレンス 勉強会						
午後	病棟、専門外来(週1回)、正常新生児診察(産科) 学生・初期研修医の指導						
13:00-14:00				小児科医との 症例検討会	抄読会		
14:00-15:00	乳児健診 (毎週)			産婦人科医との 症例検討会	予防接種 (毎週)		
15:00-16:30							
17:00~	夕方回診→担当医は当直(週1回)						

### 06 症例検討会など

- 毎週 木曜日 小児科との小児病棟カンファレンス
- 毎週 木曜日 産婦人科との周産期カンファレンス
- 2ヵ月に1回 放射線科との新生児レントゲンカンファレンス
- 2ヵ月に1回 千葉県こども病院での千葉県新生児レントゲンカンファレンス
- 年に2回 千葉県周産期新生児研究会に発表ならびに出席
- 毎年 日本周産期新生児学会、日本新生児成育医学会に発表ならびに出席
- 毎年 ワシントンで行われる新生児 HotTopics(世界新生児学会)に出席

### 07 研修終了後の進路について

神奈川県立こども医療センター、日本赤十字社医療センター、愛育病院などへの研修を経て当院に。